

輝く新市域を振り返る

人権尊重都市の実現



本市は平成16年11月の市町村合併以降も、特色ある地域づくりの推進と市民サービスの向上に努めています。それらを合併当初に掲げた「夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン」の11の項目に沿ってシリーズで紹介します。今回のテーマは「人権尊重都市の実現」です。

問い合わせ先 市役所 本庁舎人権推進課 ☎ 0857-20-3144
男女共同参画課（福祉文化会館内） ☎ 0857-20-3166

小地域懇談会での車いす体験

夢

があり誇りのもてる
20万都市づくりビジョン

- ・ 広域交流観光の展開
- ・ 防災・防犯対策の強化
- ・ 新たな農林水産業の振興
- ・ 地域文化の振興
- 人権尊重都市の実現
- ・ 人材誘致・定住対策の促進
- ・ 子育て・教育先進都市の実現
- ・ 生涯健康都市の実現
- ・ 地域に根ざした商工業の振興
- ・ 情報先進都市の実現
- ・ 環境先進都市の実現

人権施策基本方針の策定

本市では、市町村合併後の平成17年6月に、新たな鳥取市における市民の人権に関する意識の現状や傾向について調査、分析をするため、「同和問題等人権問題に関する市民意識調査」を実施しました。その調査から、まだ多くの人が、人権が保障されていないと感じていること、さまざまな差別が存在していると感じて

いることなどがわかりました。これを踏まえ、平成19年10月に、今後、本市が取り組むすべての人権施策についての基本的な考え方や方向性を示す方針として「鳥取市人権施策基本方針」を策定しました。

市民・企業・市民啓発 団体などとの協働で

本市では、この方針に基づいて、市民、企業、市民啓発団体などと協働しながら



人権尊重社会を実現する鳥取市民集会



人権の花運動



人にやさしいまちづくり大会



じんけん講演会



集落での座談会



長島愛生園の視察



女と男とのハーモニーフェスタ



男の料理教室

ら、市民のみなさんへさまざまな人権啓発を推進しています。主な内容として、鳥取市人権教育協議会主催により毎年夏に開催する「人権尊重社会を実現する鳥取市民集会」は、今年で第37回を数え、毎年、2000人近くの参加者が集います。人権週間（12月4日～12月10日）期間中には、街頭啓発や人権フォーラム、人権コンサートなどさまざまな人権に関する催しを開催しています。

また、市内小・中学校児童・生徒から作品を募集して「人権標語・ポスターコンテスト」を実施するとともに、法務局、人権擁護委員と連携しながら、市内の小中学校

で花を育てることにより生命の大切さを育む「人権の花運動」を実施しています。さらに、地域・職域での人権教育・啓発の取り組みを推進する人材の育成を目的として、「人権とつとり講座」を開催するとともに、地域住民を対象とした「小地域懇談会」が地区人権・同和教育推進協議会などにより、町内会や自治会単位で開催されています。

あらゆる差別の解消を

しかしながら、私たちの社会には今日でもなお、同和問題、女性、障がいのある人、子ども、高齢者および外国人の人権問題、病気にかかわる人の人権問題、

個人のプライバシーの保護、そのほかの人権問題などが存在し、最近ではインターネットや携帯電話による人権侵害も発生し、新たな問題も生じています。

これらの問題の解決のためには、人権教育・啓発に努めるとともに、あらゆる差別の解消に取り組んでいく必要があります。本市は、今後とも引き続き市民と行政との協働により、一人ひとりの人権が相互に尊重される、差別のない明るい人権尊重都市・鳥取市の実現をめざして取り組んでいくこととしています。

ひとひと女と男とが対等に

本市は、家庭や地域・学校・

職場などのさまざまな場において、女性と男性が社会の対等な構成員として、共に喜びと責任を分かち合う「男女共同参画都市・とつとり」の早期実現をめざし、平成18年1月に合併後最初の「鳥取市男女共同参画かがやきプラン」(計画期間：平成18年度～22年度)を策定しました。

本市では、このプランに基づき、男女共同参画センター「輝(きら)なんせ鳥取」を拠点として、女と男とのハーモニーフェスタ、各種啓発講座の開催などによる普及啓発、活動団体の支援など、さまざまな事業を全市的に展開してきました。

男女共同参画都市の実現を

特に新市域においては、東・南・西ブロックごとに毎年、男女共同参画啓発イベントを地域のみなさんとともに実施しており、地域における男女共同参画意識の啓発の推進を図っています。

また、本年度には、「(仮称)第2次鳥取市男女共同参画かがやきプラン」(平成23年度～27年度)を策定して、すべての市民が自らの自由な意思で、性別にとらわれないことなく、多様な活動を選択できる、バランスのとれた質の高い生活文化の構築に向けて、さらなる取り組みを進めていきます。